

アカデミー褒賞骨子

■概要

1年間を通して学んできたこと（中島土先輩のJCについて、井浦義太君のリーダー論について、竹村先輩のJCI Achieve、佐藤先輩の事業構築について、小倉先輩のスピーチ）を生かし、通年を通して参加したアカデミーメンバーの中から発表者を選出し、地域の課題解決に向けた課題背景、目的を発表していただく。

○発表者の選定

全5回の講座に参加した入会3年目以下の方の中から3名発表者を選出する。

○報告の内容

佐藤先輩のセミナーで学んだ手法を用い、各所属 LOM の地域で抱える課題の抽出（StrategicMap を参考に課題を抽出する）、課題の深堀（事実やデータ収集による分析する）、課題の発生原因の特定（事実やデータなどを踏まえた原因究明）、課題によって引き起こされるマイナスの事象の特定（実際に発生している、悪影響など）を説明し、それを踏まえた背景の設定（どのような課題と事実があり、どういった原因がある等）、目的の設定（マイナス状態からより良い状態にする）という内容でスライドを作成し発表する。

○StrategicMap

Strategic Map

	社会	経済	環境	人材	組織
地域	1 地域の魅力を発信	1 人口減少でも暮らせる経済の仕組みづくり	1 SDGsへの取り組みでビジネスチャンス拡大	1 リーダー育成事業	1 ブランディング
	2 持続可能なまちづくり	2 子育て支援の仕組みづくり	2 子育て支援の仕組みづくり	2 人材育成プログラム	2 あらゆる分野とパートナーに
	3 テクノロジーで課題解決	3 国土計画を策定し、長期的な需要拡大	3 若者と協働による事業	3 若者を抱える事業	3 抜本的組織改革
	4 子供を育むための事業	4 インフラ整備に向けたアクション	4 地域主体の環境サミット	4 スポーツで青少年育成	4 会員拡大に関する事業
	5 交通インフラ整備	5 地域経済を復興させる産業創出	5 世代を超えた環境保全活動	5 グローバルな人材育成	5 組織改革のロールモデル推進
	6 SDGsの先をゆく事業	6 働き方改革	6 環境に配慮したまちづくり	6 若者能力開発	6 LOMと連携つなげる
国家	1 日本の社会課題解決のためのSDGs推進	1 国家の財政に関する価値観を変化させる	1 環境問題解決のSDGs推進	1 有識者の質を高める教育	1 企業・団体・有識者と連携
	2 主権者意識の向上	2 消費税に対する議論を興す	2 メディア連携による環境問題の周知	2 多様性を受け入れられる社会づくり	2 リブランド
	3 安全保障問題を改善	3 民間企業投資を活性化	3 カウンターパートとともに環境課題解決	3 情報リテラシー力UP	3 多様な人材の活躍を推進
	4 現行の法律や条約の改正に向けたアクション	4 新技術を学び、実装する取り組み	4 国内ネットワークによる協業作成/普及	4 障壁からの歴史教育	4 根拠に基づく事業実施のための仕組みづくり
	5 子供を増やし、育てやすい国づくり	5 インバウンドの消費拡大	5 環境教育の確立	5 伝統・文化の発展を深める	5 各自治・政治家との連携
	6 東京一極集中を是正	6 SDGsを利用して長期的な経済成長を創出す	6 ステークホルダーとの協働	6 遠隔教育	6 ジェネレーションZ世代と協働
国際	1 国際社会の課題解決へのSDGs推進	1 SDGsを軸とした経済活動を推進	1 環境問題解決のためのSDGs推進	1 グローバルリーダー育成	1 国際的な機会を構築
	2 民間の有給ネットワーク構築	2 民間外交事業を促進	2 国連と協働	2 国家間の相互理解	2 多様な人材の活躍
	3 ガラバスからの脱却	3 海外企業との協業事業を実施	3 他国と協働で環境事業を実施	3 ダイバーシティの推進	3 国連や他国と協働
	4 日本JICの運動を世界に発信	4 企業の国際化支援	4 他国の環境政策を学ぶ	4 各国との対話を促進	4 各国との国際交流の機会を提供
	5 多様な視点を取り入れた教育	5 国際感覚を持った人材の育成	5 環境教育事業の実施	5 正しい歴史教育	5 国際会議への参画を促進
	6 国家観の向上	6 日本の魅力を世界に発信	6 他国と民間の連携を確立	6 国際人教育のため有識者と連携	6 国際ルールを学習

■事業報告発表の流れ（骨子）

○事前

- ・スピーチまで参加したアカデミー生の中から発表者を3名選出する。
- ・委員会メンバーでサポートしつつスライドテンプレートに沿って発表スライドを作成する。
- ・発表者とスケジュール調整し、発表のリハーサルを行う。

○当日

- ・発表者1がスライドテンプレートに沿って発表を行う（スライド6枚6分程度）
- ・コメント：中島 土 先輩（動画、2分程度）
- ・コメント：井浦 義太 君（2分程度）
- ・コメント：竹村 祥吾 先輩（2分程度）
- ・コメント：佐藤 友哉 先輩（2分程度）
- ・コメント：小倉 崇徳 先輩（動画、2分程度）
- ・コメント：発表者所属 LOM 理事長（2分程度）

※以上を3回繰り返す

・すべての発表が終わった後、アカデミー事業（全5回）に参加した方全員を登壇させ、褒賞として賞状を進呈する。

■褒賞について

全5回の講座に参加した入会3年目以下の方全員に対して、登壇していただき、賞状を授与する。

年間を通して中核を担う人材として、自身で考え、行動したことに対して褒賞する。

褒賞を行うことで、今後の活動に対して、モチベーションの醸成に繋がります。

○褒賞者の選定

全5回の講座に参加した入会3年目以下の会員全員